

☆ 世 界

綿 花 2016/17 年、綿花消費は横ばい、生産は回復

4 月に入り、北半球では綿花栽培が始まった。2016/17 年の世界の綿花作付面積は、1%増の 3,130 万 ヘクタール になる見通しである。2015 年 12 月から 2016 年 2 月までの間、Cotlook A インデックスの国際綿花価格は、平均で 69 セント/ポンド であった。しかし、同時期における競合作物の価格が下落し、今年は昨年よりも綿花の競争力が向上している。世界平均イールドが 4%増の 732 キログラム/ヘクタール になると見られるため、2016/17 年の世界の綿花生産は、4%増の 2,300 万 トン と予想される。主要国の状況は以下の通り；

- ・インド：作付面積は、2015/16 年に国産綿花価格が改善されたことにより、4%増の 1,240 万 ヘクタール となる見込み。推定されるイールドは、4 年間の平均と同じように 522 キログラム/ヘクタール であり、2016/17 年の生産高は 650 万 トン に届くと見られる。
- ・中国：中国政府が 3 月に新疆綿の目標価格を 18,600 元/ トン に減額すると発表した。その結果、作付面積は 10%減の 310 万 ヘクタール になり、生産高は 460 万 トン に落ち込むことが見込まれる。
- ・米国：作付面積は 2%増の 330 万 ヘクタール 、生産高は 9%増の 310 万 トン になることが予想される。
- ・パキスタン：綿花生産は、2015/16 年に急落したが、イールドの回復により 35%増の 210 万 トン に急増する見込み。

2015/16 年に 2%減となった世界の綿花消費は、2,390 万 トン と横ばいになると予想される。中国における消費は、賃金や国産綿花価格の上昇、そしてポリエステル価格の低下により、5%減の 680 万 トン になる見通し。ベトナムの綿花消費は 16%増の 130 万 トン で、世界第 5 位の消費国になる見込み。世界第 6 位のバングラデシュの消費は、10%増の 120 万 トン になると見られる。2015/16 年にインドとパキスタンにおける綿花のミル消費は、これまでの増加から需要の減少により伸びは鈍化し、インドは 4%増の 550 万 トン 、パキスタンは 1%増の 220 万 トン になる見通しである。

2015/16 年に 3%減少したが、2016/17 年の世界の綿花貿易は、輸入に依存している国で消費が伸び、1%増の 750 万 トン と回復する見通し。ベトナムとバングラデシュは、それぞれの輸入量が 25%増の 140 万 トン と 5%増の 110 万 トン になり、第 2 位の綿花輸入国となりそうだ。中国の輸入量は 13%減の 936,000 トン になる見通しである。米国からの輸出量は 1%増の 220 万 トン 、インドからの輸出量は 13%減の 100 万 トン になると予想される。

2015/16年の世界の期末在庫は、8%減の203万トンと見られる。綿花生産の増加に対し、綿花消費が横ばいにより、2016/17年の在庫減少は小さくなりそうだ。世界の期末在庫は、5%減の1,940万トンの見通し。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2014/15	2015/16	2016/17
生産	26.11	22.03	22.95
消費	24.34	23.80	23.89
輸入	7.60	7.40	7.49
輸出	7.70	7.40	7.49
期末在庫	22.10	20.33	19.39
価格*	71	70*	72*

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。